



平成26年度施政方針を発表(2月28日新館/議場)

市ホームページ「市長の部屋」へどうぞ。http://www.city.shimonoseki.lg.jp/

# 「元気・飛躍! 下関」 平成26年度がスタートします!

「2」 交流人口の拡大…交流人口1000万人、宿泊客100万人を

目指し「観光交流都市 下関市」の構築に向けてさらなる交流人口の拡大に努めます。

歴史ある現本庁舎を最大限に活用しながら、窓口サービス環境の改善に向けた整備を進めています。先日、新館の一部が完成し、新しい議場での初めての本会議で平成26年度施政方針を発表し、予算の概要を説明しました。

「3」 公共施設マネジメントの推進…昭和40・50年代にかけて建築された公共施設が老朽化し、その更新が一定期間に集中することが想定されます。その更新需要を抑制し、更新費用の平準化を図っていきます。

毎年市政経営に当たり、キーワードを決めています。平成26年度のキーワードは「元気・飛躍! 下関」としました。新生・下関市が誕生して10年目を迎え、合併後のまちづくりが最終段階を迎えます。本市総合計画の後期基本計画に基づき、伝統と愛着のある、わがふるさと下関市の「元気」を増進させてまいります。

「4」 新下関市合併10周年記念事業…平成27年2月13日に合併10周年を迎えます。合併の意義を確認し、節目を迎えることができたと喜びを皆さんと共有すると共に、未来に向けて一層の躍進を図っていきます。

平成26年度予算では、選択と集中をさらに徹底するために四つの重点テーマを設定しました。

「1」 地域内分権の推進…人口減少や少子高齢化により地域力が低下する中、市民の皆さんが地域の発展に主体的に関わり、地域力創造の取り組みを進め、地域の活力を向上させます。

「2」 交流人口の拡大…交流人口1000万人、宿泊客100万人を

目指し「観光交流都市 下関市」の構築に向けてさらなる交流人口の拡大に努めます。

「市」と「地域内分権」を市政運営の基本として掲げ、さまざまな課題に正面から向き合い、各種施策に取り組んでまいります。輝かしい下関の未来のために、厳しく選択と集中を行い、効率的な行財政運営に取り組み、市民の皆さんの声をしっかりと伺いながら、市民のための市政を実現させてまいります。

中尾市長の似顔絵を募集しています。作品と、住所、氏名(ペンネーム可)、電話番号を、広報広聴課 〒750-8521 市内南部町1番1号へお寄せください。

## しものせきナビ vol.43

下関の登録有形文化財

### めぐみ幼稚園

第一園舎(旧下関バプテスト教会)、第二園舎(旧宣教師住宅)

上田中町二丁目13番26号



新しい年度が始まる4月。中島山に建つめぐみ幼稚園第一園舎(旧下関バプテスト教会)・第二園舎(旧宣教師住宅)も新しい仲間を迎え、にぎやかな空気に包まれます。

元教会堂の第一園舎は昭和5(1930)年にヴォーリズ建築事務所によって設計された建物で、塔屋部分のトがりアーチや二階の手すりの束(ハラスター)が目を引きまます。礼拝空間だった内部は保育室となり、今日も元気な園児たちの声が響きわたります。



第二園舎は、ペランダコロニアル・スタイル(※)の元外国人宣教師住宅で、明治38(1905)年ごろ長崎から移築されたと伝わります。ペランダのアーチや菱格子状高欄(ひしごしじょうたかかん)は初期の居留地住宅に見られる特徴で、建築年代が明治初期にまでさかのぼる可能性もあるといわれています。

生き生きとした子どもたちの姿とそれを見守る二つの愛らしい建物。どちらも地域の財産として未来へ伝えていきたい風景だと思いませんか。

(※)ペランダコロニアル・スタイル：暑さをしのぐため、建物の外周を囲むようにペランダが設けられた建築

※登録有形文化財…地域のシンボルとなっている建物など、特にその保存と活用が必要とされる身近な歴史的建造物のうち、文部科学大臣が文化財登録原簿に登録した建築物や土木構造物などのこと